

[兵庫県立大学大学院社会科学部研究科長]

1 氏 名 やまぐち たかひで  
山 口 隆 英

2 生年月日 昭和42年2月7日(59歳)

3 略 歴

平成 元年 4月 福岡大学商学部貿易学科卒業  
平成 4年 3月 神戸商科大学大学院経営学研究科経営学専攻修士課程修了  
平成 7年 3月 神戸商科大学大学院経営学研究科博士後期課程単位取得退学  
平成 7年 4月 福島大学経済学部助教授  
平成16年 4月 兵庫県立大学経営学部助教授  
平成19年 4月 兵庫県立大学大学院会計研究科教授  
平成22年 4月 兵庫県立大学大学院経営研究科教授  
平成26年 4月 兵庫県立大学大学院経営研究科長  
平成29年 4月 兵庫県立大学大学院経営学研究科長(兼務)  
平成29年12月 兵庫県立大学国際商経学部準備室長(兼務)  
平成31年 4月 兵庫県立大学国際商経学部長兼経済学部長兼経営学部長(令和5年3月まで)  
平成31年 4月 兵庫県立大学大学院経済学研究科長(令和3年3月まで)  
令和 5年 4月 兵庫県立大学国際商経学部長特別補佐(兼務)(令和7年3月まで)

4 受賞歴 平成19年10月 国際ビジネス研究学会賞  
平成20年 7月 第36回日本公認会計士協会学術賞

5 学 位 平成20年3月 博士(経営学)(兵庫県立大学)

6 専 攻 経営学、国際経営

7 研究業績

著 書

- (1) 『多国籍企業の組織能力』白桃書房 2006年
- (2) 『新興国における人事労務管理と現地経営』(古沢昌之、安室憲一と共編著)白桃書房 2015年
- (3) 『安室憲一の国際ビジネス入門』(古沢昌之、安室憲一と共編著)白桃書房 2019年
- (4) 『働き方とイノベーション』(鴨谷香と共編著)神戸大学出版会 2020年

論 文

- (1) 「海外子会社の所有政策と経営戦略との対応関係についての考察」『神戸商科大学創立80周年記念論文集』pp.565-583、2010年3月
- (2) 「多国籍企業論の再検討—現代多国籍企業の組織能力の視点から」林倬史・古井仁編著『多国籍企業とグローバルビジネス』税務経理協会、pp.3-29、2012年5月
- (3) 「日本の中小企業における海外事業展開」(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構研究調査本部『中小企業における海外事業展開の動向と課題』(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構、2013年3月

[兵庫県立大学大学院工学研究科長・工学部長]

1 氏 名 すみとも こうじ  
住 友 弘 二

2 生年月日 昭和38年12月30日(62歳)

3 略 歴

昭和61年 3月 大阪大学工学部電子工学科卒業  
平成 3年 3月 大阪大学大学院工学研究科電子工学専攻修了  
平成 3年 4月 日本電信電話㈱入社  
平成28年 3月 日本電信電話㈱退社  
平成28年 4月 兵庫県立大学大学院工学研究科教授  
令和 4年 4月 兵庫県立大学総合教育機構副機構長  
令和 6年 4月 兵庫県立大学高等教育推進機構副機構長兼高等教養教育部長兼高等  
教育研究部長兼高等教育センター長兼教学マネジメントセンタ  
ー副センター長 [現在に至る]

4 受賞歴 平成 17年11月 日本表面科学会 会誌賞  
平成 25年10月 日本電信電話株式会社 社長表彰(発明考案)  
令和 4年 1月 兵庫県立大学 工学部・工学研究科 功績賞  
令和 6年 7月 兵庫県立大学 最優秀教育活動賞

5 学 位 平成 3年 3月 工学博士(大阪大学)

6 専 攻 電子工学(表面科学, ナノバイオ科学)

7 研究業績

著 書(分担執筆)

- (1) 膜タンパク質の脂質膜への再構成, 「膜タンパク質工学ハンドブック」株式会社エヌ・ティー・エス(2020)
- (2) 計測・解析技術「神経細胞ネットワーク」, 「ナノテクのためのバイオ入門」日本表面科学会編, 共立出版(2007)
- (3) イオン散乱分光(ISS, MEIS), 「ナノエレクトロニクスを支える材料解析」電子情報通信学会(1996)

他 解説・総説など23報

論 文(共著, 全て査読あり)

- (1) “Effect of oil contamination in giant unilamellar vesicles on proton permeation”, Y. Yoshinare, M. Honkawa, Y. Miki, A. Oshima, M. Yamaguchi, A. Heya, K. Sumitomo, *Jpn. J. Appl. Phys.* **64**, 127001 (2025).
- (2) “Aggregation Control of Gold Nanoparticles and Surface-Enhanced Raman Scattering within Giant Unilamellar Vesicles”, Y. Inoue, Y. Yoshinare, A. Yamaguchi, A. Oshima, M. Yamaguchi, A. Heya, K. Sumitomo, *Langmuir* **41**, 6967 (2025).

他 147報

[兵庫県立大学大学院理学研究科長・理学部長]

- ふりがな たなか よしひと  
1 氏名 田中 義人  
2 生年月日 1964年5月21日(61歳)

3 略歴

- 1983年3月 兵庫県立小野高等学校卒業  
1983年4月 東京大学理科II類入学  
1987年3月 東京大学理学部物理学科卒業  
1987年4月 東京大学大学院理学系研究科物理学専攻修士課程入学  
1989年3月 同上修了  
1989年4月 東京大学大学院理学系研究科物理学専攻博士課程入学  
1991年3月 同上中退  
1991年4月 理化学研究所入所  
1992年6月 東京大学 博士(理学)  
2009年1月 理化学研究所放射光科学総合研究センター ユニットリーダー  
2014年4月 兵庫県立大学大学院物質理学研究科 教授  
2021年4月 兵庫県立大学大学院理学研究科 教授

[現在に至る]

- 4 受賞歴 理研梅峰賞(2024年)  
令和6年度優秀研究活動賞(兵庫県立大学)  
5 学位 1992年6月 博士(理学)(東京大学)  
6 専攻 放射光科学・レーザー物理学・光物性学

7 研究業績

著書

- (1) 放射光ビームライン光学技術入門 共著、日本放射光学会 2019年  
(2) X線・放射光の分光 共著 講談社サイエンティフィク 2009年

外8件

論文

- (1) "Experimental demonstration to control the pulse length of coherent undulator radiation by chirped microbunching", T. Tanaka, Y. Kida, S. Hashimoto, S. Miyamoto, T. Togashi, H. Tomizawa, A. Gocho, K. Kaneshima, Y. Tanaka, Phys. Rev. Lett., **131** (2023)  
(2) "Timing control of an intense picosecond laser to the SPring-8 synchrotron radiation pulses", Y. Tanaka, T. Hara, H. Kitamura, T. Ishikawa, Rev. Sci. Instrum., **71**, 1268 (2000)

外109件

[兵庫県立大学看護学部長]

1 氏 名 もり きくこ  
森 菊 子

2 生年月日 昭和40年10月11日(60歳)

3 略 歴

平成12年3月 兵庫県立看護大学大学院看護学研究科修士課程修了  
平成12年4月 兵庫県立看護大学看護学部助手  
平成12年10月 兵庫県立看護大学看護学部講師  
平成20年4月 兵庫県立大学看護学部准教授  
平成23年3月 兵庫県立大学大学院看護学研究科博士課程修了  
平成27年4月 兵庫県立大学看護学部教授  
平成30年4月 兵庫県立大学看護学部学生部長(令和2年3月まで)  
令和4年4月 兵庫県立大学大学院看護学研究科研究科長(令和6年3月まで)  
令和6年4月 兵庫県立大学看護学部学部長

[現在に至る]

4 受賞歴 平成元年11月 第29回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会 優秀演題賞

令和5年9月 第17回日本慢性看護学会学術集会学術集会賞

5 学位 平成23年3月 博士(看護学)(兵庫県立大学大学院看護学研究科)

6 専攻 成人看護学

7 研究業績

著 書

- (1) 森菊子(2025). 林直子他編. 成人看護学概論: 社会に生き世代をつなぐ成人の健康を支える第5版, 南江堂, pp212-219.
- (2) 森菊子, 三好智佳子(2023). 野川道子他編, 看護実践に活かす中範囲理論第3版, メジカルフレンド社, pp84-97.

外8件

論 文

- (1) 森菊子, 西池絵衣子他(2024). 自分の強みを活かし糖尿病を予防するための特定保健指導プログラムの評価. Phenomena in Nursing, 7(1), 1-11.
- (2) 今戸美奈子, 森菊子他(2021). 慢性呼吸器疾患患者の息切れマネジメント支援に関する認定看護師教育プログラムの評価. 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌, 29(3), 467-474.
- (3) 李錦純, 森菊子他(2021). 人口減少と高齢化が進む中山間地域在住高齢者における訪問看護認知度とその関連項目の検討. 厚生の指標, 68(4), 17-24.
- (4) 森菊子他. 訪問看護師の増悪予防支援により身についた慢性閉塞性肺疾患患者のセルフマネジメント能力(2019). 兵庫県立大学看護学部・地域ケア開発研究所紀要. 26, 89-102.

外12件

[兵庫県立大学大学院看護学研究科長]

1 氏 名 かわさき ゆうこ  
川崎 優子

2 生年月日 昭和 48 年 3 月 7 日 (53 歳)

3 略 歴

平成 6 年 3 月 埼玉県立衛生短期大学卒業  
平成 15 年 3 月 兵庫県立看護大学大学院がん看護学専攻修士課程修了  
平成 24 年 3 月 兵庫県立大学看護学研究科治療看護学専攻博士課程修了  
平成 15 年 4 月 兵庫県立看護大学助手  
平成 21 年 4 月 兵庫県立大学看護学部講師  
平成 24 年 4 月 兵庫県立大学看護学部准教授  
令和 2 年 4 月 兵庫県立大学看護学部教授

[現在に至る]

4 受賞歴 令和 7 年度兵庫県立大学優秀研究活動賞

5 学 位 平成 24 年 3 月 博士 (看護学) (兵庫県立大学)

6 専 攻 がん看護学

7 研究業績

著 書

- (1) 患者さんとご家族のための遺伝性大腸癌診療ガイドライン, (共著), 金原出版(2025)
- (2) 中範囲理論・看護モデル (共著), 南江堂 (2021)
- (3) 看護者が行う意思決定支援の技法 30 (単著), 医学書院, (2017) 外 14 件

論 文 (共著)

- (1) Knowledge and Awareness of Cancer Genome Profiling Tests among Japanese Patients with Cancer. ,Clinics and practice 14(5) 2105-2115 (2024)
- (2) Nursing Records Regarding Decision-Making in Cancer Supportive Care: A Retrospective Study in Japan. ,Healthcare informatics research 30(4) 364-374,(2024)
- (3) Factors Involved in Shared Decision-making Regarding Treatment Selection by Patients With Cancer., Cancer diagnosis & prognosis 4(1) 57-65,(2024)

外 46 件

[兵庫県立大学大学院情報科学研究科長]

1 氏 名 藤原 義久 (ふじわら よしひさ)

2 生年月日 1964 年 12 月 10 日 (61 歳)

3 略 歴

昭和 62 年 3 月 東北大学理学部卒業

平成 2 年 3 月 広島大学大学院理学研究科修士課程物理学専攻修了

平成 4 年 3 月 東京工業大学大学院理工学研究科博士後期課程物理学専攻修了

平成 4 年 3 月 東京工業大学理学博士取得

平成 4 年 4 月 日本学術振興会特別研究員 (Univ. of California, Santa Barbara 短期研究員)

平成 23 年 4 月 兵庫県立大学大学院シミュレーション学研究科教授

平成 25 年 4 月～令和 2 年 3 月 理化学研究所計算科学研究センター客員主管研究員

令和元年 7 月～現在 滋賀大学データサイエンス教育研究センター客員研究員

令和 3 年 4 月 兵庫県立大学大学院情報科学研究科教授

令和 6 年 4 月 兵庫県立大学大学院情報科学研究科長

[現在に至る]

4 受賞歴

平成 5 年 5 月 財団法人手島工業教育資金団 手島記念研究賞, 博士論文

5 学 位 平成 4 年 3 月 博士 (理学) (東京工業大学)

6 専 攻 ネットワーク科学、経済物理学

7 研究業績

著 書

(1) Yoshi Fujiwara, Hideaki Aoyama, Irena Vodenska, Large-scale Structure of Economic Networks  
Cambridge University Press, 2026 (in press)

(2) Hideaki Aoyama, Yoshi Fujiwara, Yuichi Ikeda, Hiroshi Iyetomi, Wataru Souma, Hiroshi  
Yoshikawa, Macro-Econophysics: new studies on economic networks and synchronization  
Cambridge University Press, 2017

(他 12 件)

論 文

(1) C. Di Giulmi, Y. Fujiwara,

Does the supply network shape the firm size distribution? The Japanese case  
Economic Modelling, Vol.152, 2025, 107238

(2) D.T. Luu, H. Inoue, L. Honvehlmann, T. Lux, Y. Fujiwara,

Multilayer Interdependencies in the Banking System of Japan  
Quantitative Finance, Vol.25, 2025, pp.973-1006

(3) Hideaki Aoyama, Yoshi Fujiwara, Yoshimasa Hidaka, Yuichi Ikeda

Cryptoasset networks: Flows and regular players in Bitcoin and XRP  
PLOS ONE, Vol. 17, 2022, pp. e0273068-e0273068

(4) Yoshi Fujiwara, Hiroyasu Inoue, Takayuki Yamaguchi, Hideaki Aoyama, Takuma Tanaka,  
Kentaro Kikuchi

Money flow network among firms' accounts in a regional bank of Japan  
EPJ Data Science, Vol. 10, 2021, pp. 19-

(他 96 件)



[兵庫県立大学高度産業科学技術研究所長]

1 氏 名 はらだ てつを  
原 田 哲 男

2 生年月日 昭和53年5月18日 (47歳)

3 略 歴

平成13年 3月 東北大学工学部卒業  
平成15年 9月 東北大学大学院工学研究科 博士前期課程修了  
平成19年 3月 東北大学大学院工学研究科 博士後期課程修了  
平成20年 4月 東北大学多元物質科学研究所 研究支援者・教育研究支援者  
平成20年10月 兵庫県立大学高度産業科学技術研究所 助教  
平成31年 4月 兵庫県立大学高度産業科学技術研究所 准教授  
令和6年 4月 兵庫県立大学高度産業科学技術研究所 所長・教授  
〔現在に至る〕

4 受賞歴

令和 5年 6月 ICPST(フォトポリマーコンファレンス)論文賞  
令和 3年 4月 国際会議Photomask Japan2021にてBest Poster Presentation Award  
令和 2年 9月 SPring-8産業利用報告会 優秀発表賞  
平成20年 9月 応用物理学会講演奨励賞

5 学 位 平成19年 (3月 博士 (工学) (東北大学)

6 専 攻 放射光ナノ工学

7 研究業績

(1) 学術論文 (査読付き)

1. Kouji Kuramoto, Yuri Ebuchi, Shinji Yamakawa, Tetsuo Harada and Takeo WATANABE, "Investigation of solvent effects on the distribution of resist compositions using resonant soft X-ray scattering," *Jpn. J. Appl. Phys.* 64 (2025) addf59.
2. Hayato Ishida, Shinji Yamakawa and Tetsuo Harada, "Development of an EUV irradiation tool in hydrogen atmosphere to evaluate EUV mask absorber durability," *Jpn. J. Appl. Phys.* 64 (2025) 03SP71.
3. Tsukasa Sasakura, Shinji Yamakawa, Tetsuo Harada, Takeo Watanabe, "Observation Result of Chemical Composition Distribution of Resist Thin Film by Photoemission Electron Microscopy," *J. Photopolym. Sci. Technol.* 37 (2024) 591.
4. Yuri Ebuchi, Shinji Yamakawa, Tetsuo Harada, and Takeo Watanabe, "Spatial Distribution Analysis of Functional Groups in Resist Thin Film Using Reflection-Mode Resonant Soft X-ray Scattering," *J. Photopolym. Sci. Technol.* 37 (2024) 585.
5. Ryuta Shiga, Shinji Yamakawa, Tetsuo Harada, and Takeo Watanabe, "Current Status of EUV Flood Exposure Tool at NewSUBARU BL03," *J. Photopolym. Sci. Technol.* 37 (2024) 579.

他 88件

(2) 査読付き国際会議論文集

1. H. Shike, R. Kuroda, R. Kobayashi, M. Murata, Y. Fujihara, M. Suzuki, T. Shibaguchi, N. Kuriyama, J. Miyawaki, T. Harada, Y. Yamasaki, T. Watanabe, Y. Harada and S. Sugawa "A Global Shutter Wide Dynamic Range Soft X-ray CMOS Image Sensor with BSI Pinned Photodiode, Two stage LOFIC and Voltage Domain Memory Bank," *IEEE IEDM 2020* 16.4 (2020)339.
2. Masato Niibe, Tetsuo Harada, Akira Heya, Takeo Watanabe, and Naoto Matsuo, "Removal of carbon contamination on oxidation-prone metal coated mirrors using atomic hydrogen," *AIP Conf. Proc.* 2054(2019)060010  
他 1件

[兵庫県立大学自然・環境科学研究所長]

1 氏 名 あかざわ ひろき  
赤 澤 宏 樹

2 生年月日 昭和 45 年 8 月 5 日 (55 歳)

3 略 歴

平成 7 年 3 月 大阪府立大学農学部農業工学科卒業  
平成 9 年 3 月 大阪府立大学大学院博士前期課程農業工学専攻修了  
平成 9 年 10 月 兵庫県立人と自然の博物館 (以下、県立博物館) 研究員  
平成 11 年 10 月 姫路工業大学自然・環境科学研究所 助手(上記研究員は併任)  
平成 16 年 10 月 兵庫県立大学自然・環境科学研究所 講師(上記研究員は併任)  
平成 23 年 4 月 兵庫県立大学自然・環境科学研究所 准教授  
平成 23 年 4 月 県立博物館 主任研究員(併任)(現在に至る)  
平成 25 年 4 月 兵庫県立大学環境人間学研究科共生博物部門 指導教員(現在に至る)  
平成 28 年 4 月 米国ワシントン大学 客員研究員(平成 29 年 3 月まで)  
平成 29 年 10 月 兵庫県立淡路景観園芸学校主任景観園芸専門員(兼務)(現在に至る)  
平成 30 年 4 月 兵庫県立大学自然・環境科学研究所 教授(現在に至る)  
平成 30 年 4 月 兵庫県立大学自然・環境科学研究所 環境計画研究部門長(現在に至る)  
平成 30 年 4 月 県立博物館 自然・環境マネジメント研究部長(現在に至る)  
令和 6 年 4 月 兵庫県立大学自然・環境科学研究所 所長 (現在に至る)  
令和 6 年 4 月 県立博物館 研究系次長 (現在に至る)

4 受 賞 歴

平成 16 年 2 月 村尾育英会学術奨励賞  
令和元年 9 月 国土交通省都市局長賞 (35 回都市公園等コンクール)  
令和 5 年 4 月 令和 5 年 4 月期表彰, 新名神淀川橋の計画と工事の実現及び鶴殿ヨシ原保全に向けた取組みについて, 西日本高速道路 (株) 関西支社

5 学 位 平成 16 年 2 月 博士 (農学) (大阪府立大学)

6 専 攻 緑地計画

7 研究業績

著 書

- (1) 赤澤宏樹ほか (2021) 造園学概論, 朝倉書店, 60-79.
- (2) 赤澤宏樹ほか (2025) 図説わかる公園緑地計画、学芸出版社、178-186. 外 13 件

論 文

- (1) 川口将武・加我宏之・赤澤宏樹 (2024) 視点場移動型 VR を用いた街路樹の景観と樹木間隔の評価、ランドスケープ研究 87(5)、477-480.
- (2) ボルジギン プレンバヤル・高田知紀・赤澤宏樹 (2024) 砥峰高原における半自然草原の所有・管理・利活用の変遷と実態、ランドスケープ研究 87(5)、389-394.

他 42 件

[兵庫県立大学地域ケア開発研究所所長]

- 1 氏 名 はやし ちさと  
林 知里
- 2 生年月日 昭和54年3月8日 (47歳)

3 略 歴

- 平成13年3月 大阪大学医学部保健学科看護学専攻卒業  
平成15年3月 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻博士前期課程修了  
平成18年3月 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻博士後期課程修了  
平成17年4月 兵庫県伊丹市役所健康福祉部高年福祉課  
平成19年4月 千里金蘭大学看護学部設置準備室専任講師  
平成20年4月 千里金蘭大学看護学部専任講師  
平成24年4月 大阪大学大学院医学系研究科附属ツインリサーチセンター特任講師  
平成25年4月 大阪市立大学医学部看護学科/看護学研究科准教授  
平成31年4月 兵庫県立大学地域ケア開発研究所教授  
令和6年4月 兵庫県立大学地域ケア開発研究所教授/所長

[現在に至る]

- 4 受賞歴 平成18年 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻最優秀論文賞  
平成26年 日本双生児研究学会奨励賞  
令和4年 第92回日本衛生学会 若手優秀発表賞  
令和7年 日本衛生学会奨励賞

- 5 学 位 博士 (保健学)

- 6 専 攻 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻

7 研究業績

著 書

- (1) コミュニティ アズ パートナー, 2007年, 医学書院 (共訳), 金川克子, 早川和生 (監訳)  
(2) ナーシング インターベンション, 1995年, 医学書院 (共訳), 早川和生 (監訳)

論 文

- (1) Hayashi C, Tanemura N, Taniguchi M. et al. (2025) A randomized controlled trial of mobile intervention using health support bubbles to prevent social frailty. NPJ Digit Med. 2025 Jul 22;8(1):471.  
(2) Hayashi C, Okano T, Toyoda H. (2024) Development and validation of a prediction model for falls among older people using community-based data. Osteoporos Int. Oct;35(10):1749-1757.  
(3) Hayashi C, Ogata S, Toyoda H et al. (2023) Risk factors for fracture by same-level falls among workers across sectors: a cross-sectional study of national open database of the occupational injuries in Japan, Public Health.  
(4) Hayashi C (2022) Relationship between Fatigue and Self-Perception of Constipation in Community-Dwelling Older Adults during the COVID-19 Pandemic, Int. J. Environ. Res. Public Health  
(5) Hayashi C, Toyoda H, Ogata S, et al. (2021) Long-term participation in community-based group resistance exercises delays the transition from robustness to frailty in older adults: a retrospective cohort study, Environmental Health and Preventive Medicine

[兵庫県立大学先端医療工学研究所長]

1 氏 名 ふじた たかゆき  
藤田 孝之

2 生年月日 昭和47年9月20日(53歳)

3 略 歴

平成7年3月 姫路工業大学工学部電子工学科 卒業  
平成9年3月 姫路工業大学大学院工学研究科修士課程電気電子工学専攻 修了  
平成12年3月 姫路工業大学大学院工学研究科博士課程生産工学専攻 修了  
平成12年4月 大阪府スーパーアイイメージセンサプロジェクト研究員(任期1年)  
平成13年4月 姫路工業大学工学部助手  
平成19年10月 兵庫県立大学大学院工学研究科 准教授  
平成20年4月 JST-ERATO project 兼務グループリーダー(任期4年)  
平成25年9月 オランダimec HOLST Centre客員研究員(任期1年)  
令和4年4月 兵庫県立大学 先端医療工学研究所・教授(現在に至る)

4 受賞歴

平成26年5月 電気学会論文誌E 優秀論文賞 受賞

5 学 位 平成12年3月 博士(工学)(姫路工業大学)

6 専 攻 MEMS, IoT

7 研究業績

著 書

- (1) “Nanomagnetic Materials, Characterization and Application,” 2021, Elsevier,  
“10.3 Energy harvesting - microelectromechanical systems” を分担執筆

外3件

論 文

- (1) T. Fujita, K. Fujibe, K. Yamamoto, H. Uchida, A. Badel, F. Formosa, K. Kanda, K. Maenaka, “Variable Load Resistance by Using CdS Analog Linear Optical Coupler for Automated Measurement of Capacitive Energy Harvester,” Sens. Actuators A, Vol. 321, 112399, 2021  
(2) T. Fujita, T. Tanaka, K. Sonoda, M. Nii, K. Kanda, K. Higuchi, K. Maenaka, “Daisy-chain Shape Wearable Health Monitoring System by Using Fuzzy Logic Heart-Rate Extraction,” Int. J. Intell. Comp. Med. Sci. Image Processing, Vol. 5, Issue 2, pp. 125-133, 2013  
(3) T. Fujita, “Energy Harvesters for Human-Monitoring Applications,” IEICE Trans. Electron., Vol. E96-C, No. 6, pp. 766-773, 2013

他76編

[兵庫県立大学附属学校総長]

1 氏 名 かわい ただし  
河 合 正

2 生年月日 昭和42年 4月26日 (58歳)

3 略 歴

平成 2年 3月 姫路工業大学工学部電子工学科卒業  
平成 4年 3月 姫路工業大学大学院工学研究科修士課程電気電子工学専攻修了  
平成 7年 3月 姫路工業大学大学院工学研究科博士課程生産工学専攻修了  
平成 7年 4月 姫路工業大学 工学部 助手  
平成19年 4月 兵庫県立大学 大学院工学研究科 准教授  
令和 7年 4月 兵庫県立大学 大学院工学研究科 教授

[現在に至る]

4 受賞歴 平成31年 3月 電子情報通信学会教育功労賞

5 学 位 平成 7年 3月 博士(工学) (姫路工業大学)

6 専 攻 電子情報工学

7 研究業績

著 書

- (1) 「マイクロ波伝送・回路デバイスの基礎」, 2013年2月, オーム社, (分担執筆, 4-4分配・合成回路 執筆)
- (2) 畠山賢一, 榎原晃, 河合正: 「マイクロ波回路と電波伝搬(改訂版)」, 2020年1月, ふくろう出版, (分担執筆, 第4章執筆)
- (3) 「Recent Microwave Technology」, 2022年8月, IntechOpen, Chapter 9 (Power divider/Combiner), 分担執筆, DOI 10.5772/intechopen.97921

他 報 (解説・総説など 3報)

論 文 (共著, 全て査読あり)

- (1) Y. Okada, T. Kawai, and A. Enokihara: "Design Method for Multiband WPDs Using Multisection LC-Ladder Circuits", IEEE Microwave and Wireless Components Letters, Vol.27, No.10, pp.894-896, Oct. 2017.
- (2) T. Kawai, T. Matsuda, M. Sakakura, and A. Enokihara: "Parallel ring-line rat-race circuit with very loose coupling", Microwave and Optical Technology Letters, Vol.60, Issue 9, pp.2245-2249, Aug. 2018.
- (3) T. Kawai, K. Nagano, and A. Enokihara: "A 920MHz Lumped-Element Wilkinson Power Divider Utilizing LC-Ladder Circuits", IEICE Transaction on Electronics, Vol.E101-C, No.10, pp.801-804, Oct. 2018.
- (4) 羽岡侑哉, 河合正, 榎原晃: "終端短絡/開放結合線路を用いた X 帯広帯域疎結合ブランチラインカプラ", 電子情報通信学会論文誌 C-I, Vol. J103-C, No. 1, pp.17-23, 2020年1月.
- (5) K. Nagano, T. Kawai, and A. Enokihara: "Design of multisection LC-ladder divider at VHF-band", Microwave and Optical Technology Letters, Vol.62, Issue 5, pp.1866-1870, Jan. 2020.

他 56報